

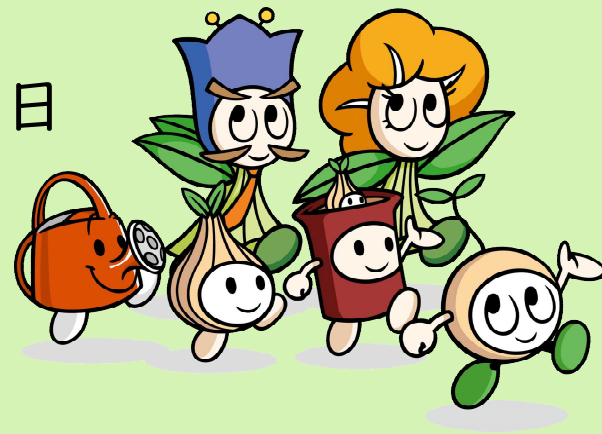


浜名湖花博20周年記念事業 基本構想

ガーデンシティ
～レイクハマナ デジタル田園都市の推進に向けて～



2022年(令和4年)7月4日
静岡県



浜名湖花博20周年記念事業

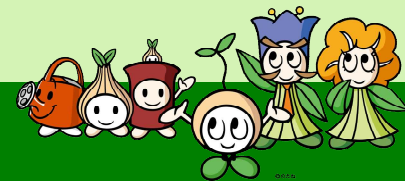
目 次

1 事業の実施背景

- (1) 時代背景 (2) 国家戦略 (3) ポストコロナ時代 本県の戦略
- (4) [浜名湖花博後の]社会の状況変化
- (5) [浜名湖花博後の]本県を取り巻く花緑の状況

2 浜名湖花博20周年記念事業

- (1) 浜名湖花博の経緯 (2) 開催意義 (3) 開催趣旨
- (4) テーマ (5) 事業概要 (6) 目指す方向性
- (7) 事業展開イメージ (8) 集客目標及びプロモーション方策
- (9) スケジュール



浜名湖花博20周年記念事業

1 事業の実施背景

(1) 時代背景

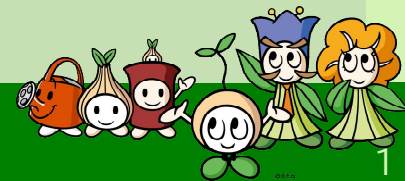
<我が国の現状>

- (1) 新型コロナウイルス感染症との闘い
- (2) 地球規模の環境問題への対応
- (3) 人口の減少と少子高齢化の進行
- (4) SDGs実現に向けた取組の拡大

<ポストコロナ時代 国家戦略>

ガーデンシティ
「デジタル田園都市」

2015年 国連サミット SDGs (「Sustainable Development Goals」 (持続可能な開発目標)) 採択
国連加盟193か国が2016年から2030年 (15年間) までに達成する国際目標



浜名湖花博20周年記念事業

(3) ポストコロナ時代 本県の戦略

都市の活力と田園の持つ豊かさに、デジタルを融合させた「デジタル田園都^{ガーデン}市^{シティ}」のロールモデルを提示することで、誰もが憧れる美しくゆとりのある暮らしと環境を創出します。

「地域循環共生圏」の形成

ガストロノミーツーリズムの推進
水産資源の回復、農福連携の推進

魅力ある暮らしの実現

DX（デジタルトランスフォーメーション）の推進
食と花の都づくり

地域の魅力向上と発信

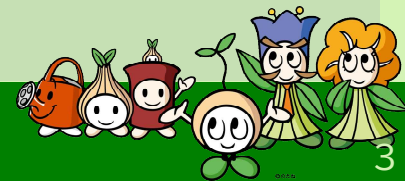
サイクルスポーツの聖地づくり
自然公園等の適切な管理

富をつくる産業の展開

スマート農業の推進
次世代自動車開発の推進
カーボンニュートラルの推進

多彩な交流の拡大

ガーデンツーリズムの推進



浜名湖花博20周年記念事業

(4) [浜名湖花博後の]社会の状況変化

<情報化社会の進展>

デジタル技術の飛躍的進歩⇒～スマートシティの時代へ～

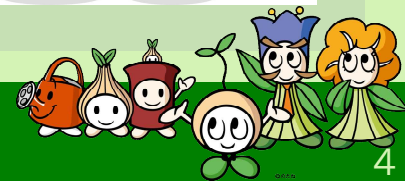


出典：総務省『携帯電話の登場・普及とコミュニケーションの変化』

2020年 [5G (5th Generation)] (第5世代) の時代へ

<5Gスマホの特徴>

- ①高速・大容量の通信が可能
- ②生活の中でのネットワーク化が加速
- ③タイムラグの解消



浜名湖花博20周年記念事業

(5) [浜名湖花博後の]本県を取り巻く花緑の状況 <「花の都」づくりの推進>

(ア) 花の県別産出額 (2020年調べ)

出典：生産物農業所得統計（農林水産省統計部）

順位	県名	産出額（億円）	全国シェア（%）
1	愛知	497	16.1
2	千葉	161	5.2
3	福岡	159	5.2
4	静岡	153	5.0
5	埼玉	151	4.79
	全国	3,080	100.0

(イ) 本県の花の主要生産品目

[産出額別] (2020年調べ)

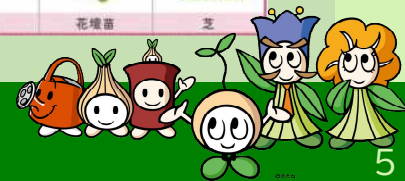
ガーベラ (全国第1位)

バラ (全国第2位)

キク (全国第6位)

出典：都道府県別品目別農業産出額
 (関東農政局静岡支局調べ)

 キク	 バラ	 ガーベラ	 カーネーション	 切枝	 トルコギキョウ	 カスミソウ
 フリージア	 ホオズキ	 スイートピー	 切花ユリ	 切花洋らん	 マーガレット	 キンギョソウ
 ハナショウブ	 観葉植物	 鉢物洋らん	 サボテン	 鉢物	 花壇苗	 芝



浜名湖花博20周年記念事業

(ウ) 本県の花きの消費動向等

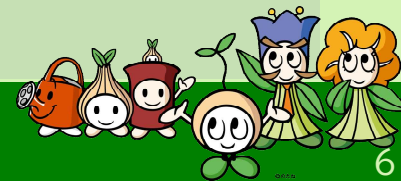
- ・ 県庁所在地等（静岡市）における1世帯当たり（2人以上世帯）の消費動向
切花年間購入額 全国42位（出典：令和3年『総務省家計調査』）
- ・ オープンガーデン 206件（令和4年2月末現在）
- ・ お花自慢の職場宣言 累計331件（平成28年9月から令和4年1月末現在）

[お花自慢の職場宣言]取組例

社会福祉法人楽寿会



- ・ 令和2年 「ふじのくに花の都しずおか・花緑コンクール」（花が自慢の職場部門）最優秀賞[主催：静岡県]
- ・ 令和3年 「第31回全国花のまちづくりコンクール」優秀賞（企業部門）[主催：花のまちづくりコンクール推進協議会]



浜名湖花博20周年記念事業

2 浜名湖花博20周年記念事業

(1) 浜名湖花博の経緯

2004年

しずおか国際園芸博覧会/
第21回全国都市緑化しずおかフェア
「浜名湖花博」

テーマ

「花・緑・水～新たな暮らしの創造～」

来場者数：544万人(187日間)

※浜名湖ガーデンパーク

2014年

浜名湖花博10周年記念事業/
第31回全国都市緑化しずおかフェア
「浜名湖花博2014～花と緑の祭典～」

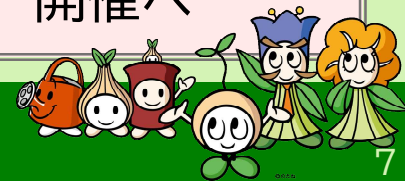
テーマ

「花と緑のオーケストラ
～水辺で奏でる未来の暮らし～」

来場者数：129万人(87日間)

(内訳) 浜名湖ガーデンパーク 69万人(72日間)
はままつフラワーパーク 60万人(87日間)

2024年 浜名湖花博20周年記念事業「浜名湖花博2024」開催へ



浜名湖花博20周年記念事業

(2) 開催意義

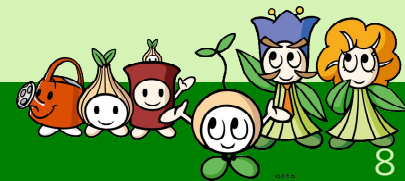
〈浜名湖周辺の地域資源〉

- ・ 美しい自然(浜名湖)
 - ・ 豊かな食材
 - ・ 歴史に培われた文化
 - ・ ゆとりある暮らし空間
 - ・ 活力ある産業
- ⇒都市の活力、豊かな自然環境

記念事業の開催意義

〈ポストコロナ時代 本県の戦略〉

ガーデンシティ
「デジタル田園都市」の実現
～技術、サービスの実証モデル～



浜名湖花博20周年記念事業

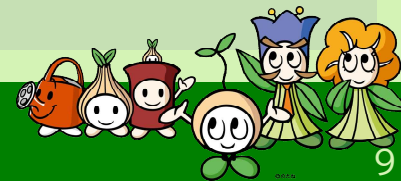
(3) 開催趣旨

都市の活力と豊かな自然を併せ持つ庄内半島において、2004年（平成16年）に開催された浜名湖花博のレガシーを引き継ぎ、人・自然・テクノロジーをつなぐことにより、環境と調和し、持続可能な社会を前提とした新たな暮らしを創造する「デジタル^{ガーデンシティ}田園都市」の具現化を目指します。

<浜名湖花博のレガシー>

花・緑・水～新たな暮らしの創造～

花・緑・水との調和が取れたランドスケープ
住民参加型の都市公園（ボランティア）



浜名湖花博20周年記念事業

(4) テーマ

2024年

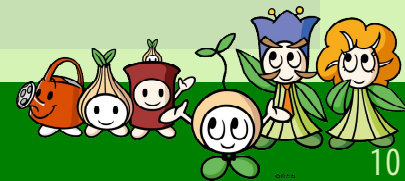
浜名湖花博20周年記念事業「浜名湖花博2024」

テーマ

「人・自然・テクノロジーの架け橋

～レイクハマナ デジタル^{ガーデンシティ}田園都市～」

花・緑にあふれた環境と先端技術との融合による
「心豊かな暮らし(Well-being)」、
「持続可能な環境・社会・経済(Sustainability)」、
「地域発の産業革新(Innovation)」
を体感できる実験場



浜名湖花博20周年記念事業

(5) 事業概要

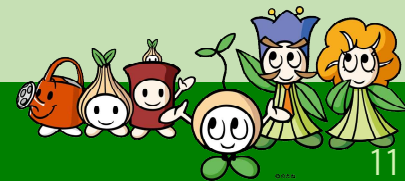
名 称：浜名湖花博2024

テーマ：人・自然・テクノロジーの架け橋～レイクハマナ デジタル田園都市～
ガーデンシティ

主 催：浜名湖花博20周年記念事業実行委員会
会 長 静岡県知事 川勝平太
副 会 長 浜松市長 鈴木康友
副 会 長 湖西市市長 影山剛士

拠点会場：浜名湖ガーデンパーク
はままつフラワーパーク

会 期：2024年(令和6年)3月23日(土)から6月16日(日)(86日間)
[浜名湖ガーデンパーク]
2024年(令和6年)4月6日(土)から6月2日(日)(58日間)



浜名湖花博20周年記念事業

[会場]
～庄内半島・
浜名湖～



浜名湖花博20周年記念事業

(6) 目指す方向性

「心豊かな暮らし(Well-being)」
「持続可能な環境・社会・経済(Sustainability)」
「地域発の産業革新(Innovation)」

心の豊かさ

環境と調和の取れた景観
新たなツーリズムの推進
(ガストロノミー、ガーデニング、サイクリング)
ワーケーション

持続可能性

持続可能な公園づくり
多様な生物の保全
ゼロエミッション

産業革新

公園のスマート化
農業のスマート化
スマートモビリティ
バーチャルガーデンパーク

SDGsとの関連

3 すべての人に
健康と福祉を



7 エネルギーをみんなに
そしてクリーンに



8 働きがいも
経済成長も



9 産業と技術革新の
基盤をつくろう



11 住み続けられる
まちづくりを



12 つくる責任
つかう責任



13 気候変動に
具体的な対策を



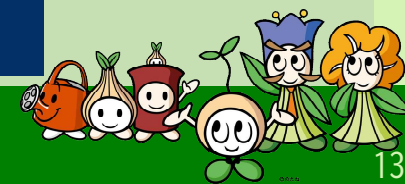
14 海の豊かさを
守ろう



15 陸の豊かさも
守ろう



17 パートナーシップで
目標を達成しよう



浜名湖花博20周年記念事業

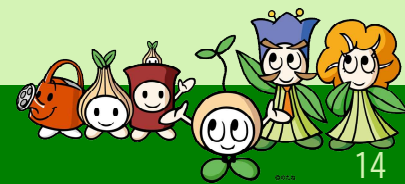
(7) 事業展開イメージ

(ア) 「ふじのくに花の都しずおか」の新たな展開

- ・スマート農業導入による作業の効率化→花・緑の生産振興
- ・デジタル技術を活用した流通の効率化、販路拡大
- ・持続可能な都市公園づくり
- ・花・緑活動のロールモデル→「花の都」づくりの拠点

(イ) テクノロジー（デジタル技術、最先端技術）の活用

- ・県内のスタートアップ企業、中小企業の参画
- ・国内の先端技術を持つ企業の参画
- ・県内研究機関との連携



浜名湖花博20周年記念事業

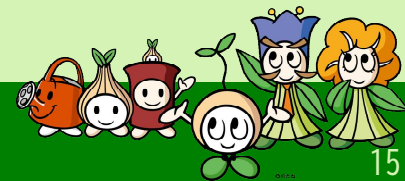
(8) 集客目標及びプロモーション方策

①集客目標

浜名湖ガーデンパーク 50万人から55万人
はままつフラワーパーク 40万人
計 90万人から95万人

②プロモーション方策

圏域：静岡県全域及び愛知県東部 600万人
重点地域（静岡県西部及び愛知県東三河地域） 205.8万人
広報媒体：マスメディア（新聞・テレビ・ラジオ、情報誌）、SNS



浜名湖花博20周年記念事業

(9) スケジュール

①2022年(令和4年)

7月 浜名湖花博20周年記念事業実行委員会
設立会議・第1回総会(基本構想)

10月 第2回浜名湖花博20周年記念事業実行委員会総会(基本計画)

②2023年(令和5年)

4月 第3回浜名湖花博20周年記念事業実行委員会総会(実施計画)

4月 広報プロモーション開始

③2024年(令和6年)

1月 第4回浜名湖花博20周年記念事業実行委員会総会

3月23日(土)から6月16日(日) 浜名湖花博20周年記念事業開催

9月 第5回浜名湖花博20周年記念事業実行委員会総会

